

【泉区】令和元年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和元年 9 月 4 日 午後 1 時 50 分 ～ 午後 3 時 10 分
場 所	泉区総合庁舎 4 階 消防署会議室
出席者	<p>【座 長】麓 理恵 議員</p> <p>【議 員：3 人】梶村 充 議員、源波 正保 議員 横山 勇太郎 議員</p> <p>【泉 区：34 人】額田 樹子 区長、鳥海 仁 副区長 松浦 淳 福祉保健センター長 村田 二郎 福祉保健センター担当部長 山根 好行 土木事務所長 森田 清 泉消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 30 年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績について 2 令和元年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況について 3 令和 2 年度泉区予算編成の考え方について 4 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「あなたの力発揮！応援フェア ～あなたの力 活かしてみませんか～」開催実績報告について (2) その他
発言の旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 30 年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績について 2 令和元年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況について <p>梶村議員：事業実績の泉区民ふれあいまつり支援事業について、連合会の人たちがテント設営や綿密な打ち合わせを重ねるなど、色々とやってくれている。泉区民ふれあいまつりは一番人が集まるイベントなので、食中毒なども含めて、打ち合わせなど結構な回数を重ねている。その辺の実施状況を教えてほしい。</p> <p>小澤地域振興課長：今年度も 11 月 3 日に第 10 回泉区民ふれあいまつりを実行する予定。現在、事務局のシニアクラブと地域振興課と実施に向けて準備を重ねている。11 月 3 日は晴れの日が多いことから、今まで中止になったことはない。事故等がないよう念入りに打ち合わせを重</p>

ねていきたいと考えている。

梶村議員：今年度のことはわかった。昨年度は地域交流行事支援事業の補助金として170万円を使っている。12団体それぞれ成果もあげているけれど、結構な時間をかけている。色々な事をやっているのはわかるが、相当数の打ち合わせをしている。負担ではないのか。

小澤地域振興課長：昨年度についても、実行委員会を3回開いている。募集から始まり、実際の設営を含め、念入りに事業実施に向けて協議を重ねていると聞いている。泉区民ふれあいまつりについて、一度は泉区において廃止したことがある。従前は12連合に補助金を交付し、地域でお祭りを開催していたが、ぜひ復活を、という声があったことから、泉区としてお祭りを実施するために50万円を交付している。一方、各12連合については、この補助金を10万円ずつ交付し、各地域連合で活用し、大変好評だと聞いている。

梶村議員：いずれにしても、夏祭りでは食中毒の対応で食料品などをチェックして、保健所へ提出等は当然している。同じようなことをしているのは良いと思う。

笹尾生活衛生課長：食の安全について、様々な屋台等が出店していることから、事前のチェックや当日の監視を行っている。冬場はノロウィルスが流行ることから、泉区の食品衛生協会と協力し、食中毒予防キャンペーンを泉区民祭りで啓発している。

梶村議員：多文化共生や子供たちの学童保育にも関わってくるが、いちよう団地内にある学童保育の施設が耐震の件で、県とうまく折り合いがつかない。県の方は見た目が問題ない、横浜市の方ではきちんと耐震診断をしてもらわなくてはいけないと、ここ何年か行き詰っており、一向に移転が決まらない。ある程度の図面があれば調整できるのではないかと。その辺を調整してもらいたいと思う。

木下学校連携・こども担当課長：ご存知のように面積基準と耐震基準が満たされることで基準適合となるが、いちよう団地にあるいちよう第二学童クラブに関しては、耐震基準が未達成である。県は人が居住している施設ではないことから、耐震の対応はせず現状で、としている。現在、学童の了解も得て、県の所管課と区が直接協議をし、居住部分への移転に向けて相談し、具体的に空き部屋を抽出してもらえよう依頼している。こども青少年局にも協議に入ってもらい、手続き的な面も含めて

県との協議を続けている。県も集会所の耐震化については、なかなか難しいが、空き住居の移転については、できる限り学童の存続というところで協力したいと所管は言っている。どのような契約・条件になるのか、国の補助金も入っていることから、国や県の管財部門との調整に時間を要している。

梶村議員：居住している部分だと狭くて使えないと聞いているが、その辺は大丈夫なのか。2部屋使うということか。

木下学校連携・こども担当課長：空き住居を学童として使うと想定して、面積を積算したところ、現在、14名の登録があるが、面積基準は満たし、14名は受け入れられる。学童としては、できれば18名前後の規模での運営を希望していることから、それが可能な部屋を探してもらっている。また、1部屋で足りない場合は、2部屋借りることも視野に、県には空いている部屋を具体的に抽出する作業をしてもらっている。

梶村議員：2部屋に分けると人員も増やさなければいけない部分もある。大変だと思うが、調整してやってもらえればと思う。

梶村議員：消防団の器具置場の整備について、上飯田に素晴らしいものができた。第一分団第3班の公園の器具置場は入札の結果、不調になったと聞いているが、その後はどうなったのか、進んでいるのか。

古池泉消防署副署長：今のところ入札は不調に終わっており、これから入札にかけるところ。今年度中には竣工したい。

梶村議員：環状4号線の空き地へ抜ける上飯田南の方の現状はどうなっている。

古池泉消防署副署長：そちらは用地確保をしており、来年度以降設計に入る予定。

梶村議員：自転車のマナーについて、中田駅は押し歩きをしていない。子どもたちのスクールゾーンもあり、危険な目にあつた人もかなりいると思う。事故等の報告は受けていないか。

小澤地域振興課長：事故について把握はしていないが、自転車のマナーアップについては、交通安全運動の際に啓発を進めていきたい。

梶村議員：受動喫煙について、立場駅は受動喫煙防止啓発活動をあまりやっていないのか。泉区の中でも立場駅は中心駅。煙草の吸殻を常時拾っ

て歩いているが、ものすごい数がある。喫煙禁止地区になるよう調整できないか。

西園資源化推進担当課長：立場駅の周辺については、美化推進委員が週3回、ポイ捨てやその他のごみの清掃をしており、その時に声かけをしている。現時点で喫煙禁止地区の指定の話等は出ていないことから、取り組んではいない状況。

梶村議員：できれば泉区の主要駅なので、喫煙禁止地区に含めてもらえるよう、こちらからも資源循環局へ要望を伝える。先日、旭区の二俣川駅は実施したが、泉区には喫煙禁止地区が一か所もない。喫煙禁止地区の指定は泉区にとってもいいことだと思うが、区長はどう思うか。

額田泉区長：自分も常日頃から立場駅を利用しているが、区役所へ向かう途中、前の人が歩きたばこをしており、煙を吸うこともあった。積極的に検討していきたい。

梶村議員：要望としてお願いしたい。

源波議員：定住・転入促進事業のインスタグラムのフォロワー数が393とあるが、これは多いのか、少ないのか。

長井区政推進課長：今日現在で398になった。今後も伸ばしていくようPRを引き続き進めていく。

源波議員：自分もフォロワー数を増やしたうちの1つ。内外にPRとあるが、どのような方法か改めて教えてほしい。

長井区政推進課長：区民の方にはパンフレット、区外または市外の方は昨年末に作成したHPを活用する。今年度も更新を予定している。また、今年度はタウンニュースと連携し、区内の名所等を紹介する記事を掲載し、それをHPにリンクし、市外の人も見られるようにしている。今後もPRは進めていく。

源波議員：インスタグラムのフォロワー数を増やすためのキャンペーンはやっているのか。

長井区政推進課長：区内の方に写真を応募してもらいたいと考えており、それぞれのイベント通じてインスタグラムのPRをしている。また、ターゲットである子育ての方を中心にしていることから、子育て関係の施設やイベントでPRしている。

源波議員：状況はわかった。自分も始めたが、インスタグラムのアプリをスマートフォンに入れよう、というチラシを見て自分もインストール

した。自分はこういった操作が苦手で、やらなければいけないと思っても誰かにサポートしてもらわなければ難しい。しかし、チラシを見ながら操作ができた。そういうアイデアも入れて進めてほしい。自分のような人や機会があれば、という人もいると思う。一度操作できれば写真の登録も増えると思う。

長井区政推進課長：インスタグラムやHPは操作がしにくいという声も聞いている。マニュアル等も含め丁寧に対応したい。

源波議員：梶村議員からの意見でもあったが、いちよう団地の件で、県との関係もあると思うが、いろいろなことを乗り越えて解決できるようにしてほしい。

木下学校連携・こども担当課長：いちよう第二学童は経営面でも困難を抱えている。こども青少年局とも協議をしながら、経営改善に向けても学童と話し合いを重ねている。ここ最近は学童との距離も縮まり、現場へ何度も足を運んでいる。区としても最大限寄り添って支援していきたい。議員の方々も引き続き支援をお願いしたい。

横山議員：泉公会堂について、いつから工事しているのか。

小澤地域振興課長：工事は今年の4月から開始しており、順調に進んでいる。泉公会堂は特定天井を設置しており、現在は天井を取り換えるための足場を組むため、座席を撤去している。また、完成は来年2月末、閉館は4月を予定している。

横山議員：代替ではないが、公会堂を使っていた団体等は泉区民文化センター・テアトルフォンテを使うのが自然な流れだと思う。泉区民文化センターから混乱等は聞いていないか。

小澤地域振興課長：公会堂は休館しているが、指定管理者は常駐している。閉館中だとは知らずに誤って公会堂に来た場合は泉区民文化センターを案内している。泉区民文化センターからの混乱等の情報は聞いていない。

横山議員：今まで、公会堂を年に1回イベントで利用していたが、年明けに泉区民文化センターを使用することになった。その際、泉区民文化センターの予約方法がとても煩雑だった。

小澤地域振興課長：泉区民文化センターの予約方法は、はまっこカードの登録をし、パソコン上で入力しなくてはならない。慣れていない人から

は不便だという声も聞いている。公会堂の予約は、公会堂で紙を書いて申し込むだけだが、泉区民文化センターの予約については、設置されているパソコンでも予約が可能。その際、泉区民文化センターの職員が教えることもできるが、予約自体は自身でやっていただく原則。不便なのはその通り。改善に向けて何かできないか検討をしていく。

横山議員：自分と同じ世代の人であればそこまで苦労はしないと思う。ただ、とりわけ目に付くのは、資機材を借りる際のチェックがとても煩雑。1個100円や200円の機材から、専門的な資機材や、聞いたことのないようなカタカナの資機材の一覧が細かく記載されて分かりにくい。その辺を解決してもらいたいが、なかなか難しいと思う。泉区民文化センターの舞台設備や、中の構造も他区に比べて非常に良いものだと思う。要望として、ステージでやっている演舞や演技をカメラで映して、後ろのバックモニターに投影できるような仕組みを考えてほしい。

小澤地域振興課長：要望として承る。

3 令和2年度泉区予算編成の考え方について

梶村議員：施策3の安全・安心なまちづくりについて、震災、風水害、泉区は幸いなことに大きな被害もないような状況だが、昨日の状況をよく検討してもらわないといけないと思っている。1時間あたりの雨水は49ミリだったと聞いている。昨日の今日だが、その辺の状況は全部把握しているのか。

岡本総務課長：昨日は午前3時過ぎの警報解除に至るまで対応させていただいた。現在までに把握している被害状況としては、店舗での床上浸水が中田南と緑園で1件ずつの計2件。住宅では床下浸水が中田南で2件、停電の発生、岡津で道路の土砂流出が発生した。現在は道路の復旧をしていると聞いている。風水害の対策について広報等を進めており、いざという時には広報車で安全な避難を呼びかける取組をしている。

梶村議員：区役所に車で来る途中、中田の農地を通ってきたが、農地の土砂がかなり道路に流れ込んでいた。土木事務所もそうだが、農政事務所の方が来て、朝から対応していた。それも後で詳しく、紙ベースで結構なので調べて提供してほしい。

洞澤土木事務所副所長：被害を把握しているのは、1件。今日の午後、急遽農地から流出した土砂を処理した案件がある。農政事務所に確認し、

どれだけ被害があったか報告する。

梶村議員：農地から道路に土砂が流出した場合、誰が対応するのか。

洞澤土木事務副所長：基本的には、所有者あるいは農政事務所が対応するが、土木事務所の方で緊急対応することもある。

梶村議員：南部農政事務所はかなり対応したと聞いているが、情報は把握しているか。

洞澤土木事務副所長：農政事務所を確認し、全体を把握したうえで報告する。

梶村議員：それによって車の被害がなければよかったなと思っている。資料は資料として残してほしい。通報とか、車に流れ込んだら大きな災害になる。あの雨の中で出かけて帰ってこない。気を付けるに越したことはないので、その辺はみんなで共有してもらいたい。

鳥海副区長：岡津の土砂流出の件については、区役所の方から警察、消防と建築局にも連絡を入れ、夜間に担当係長が見に行き、安全を確保した。作業もその場で業者を頼んだが、暗くて危険ということで、わかるように目印をつけ、明るくなってから対応した。区の職員も現場に行つて対応をしている。

麓議員：梶村議員が要求した災害対応の件は、各議員へも提供をお願いします。

4 その他

(1)「あなたの力発揮！応援フェア ～あなたの力 活かしてみませんか～」開催実績報告について

梶村議員：相鉄線いずみ野線の沿線は相鉄や地域の人も力を入れてやっている。いずみ野のマルシェのように店舗数も増えてきている。弥生台でも増えており、区役所周辺も進んで結構やっていると思っている。しかし、地下鉄の沿線は、他で実施できる場所はない。立場でこれをやってくれたのはとてもいいと思う。継続して、これにかかわらず、マルシェなど地域の商店街と一緒にやってもらえたら地下鉄の方もいいと思う。

斎藤福祉保健課長：今回に関しては、イトーヨーカドーから社会貢献の一環として区役所で何かイベントを、という日付指定の誘いから実現した。今回、開催したことでイトーヨーカドーにもメリットや考えがあると思う。その辺を確認しながら、また多くの公共のイベントを開催でき

	<p>るように、窓口となってやっていきたいと思う。</p> <p>梶村議員：座長はよくご存じだが、そこは年に3、4回献血を実施している。関東でも献血協力者の多い場所。そういう意味では、外で開催しても効果が期待できる。前から話しているが、昔はごみだらけだった場所から、花も手入れし、きれいになっている。ぜひ、こういった活動は続けてほしい。イトーヨーカドーもその辺は協力してくれるだろう。</p> <p>(2) その他</p>
備 考	